

チーム美らサンゴ 2010報告



沖縄サンゴ礁・保全活動報告

琉球放送・沖縄タイムス社・沖縄電力

オリオンビール・沖縄海邦銀行・

mic21・月刊ダイバー・ハチオウ・PADIジャパン

イサム塗料・ヤマハ発動機・ANA



活動内容

チーム美らサンゴの活動は、企業、地域、都市住民が連携した新たな環境保全の方策として、多方面より多くの注目を集めています。

私達は、平成16年より恩納村万座の海でサンゴの植え付けや勉強会、講習会、シンポジウムの開催、写真コンテストなどを通してサンゴ礁の再生を助ける活動をしています。

2010年植え付け活動



サンゴの観察と勉強会



植え付け講習会



植え付け作業



終了式

2010年活動への参加状況

表1. チーム美らサンゴ 植え付け参加状況

年	参加者	ダイバー	ノンダイバー等
平成16年(2004)	252	252	
平成17年(2005)	154	154	
平成18年(2006)	224	188	36
平成19年(2007)	379	285	94
平成20年(2008)	232	190	42
平成21年(2009)	159	95	64
平成22年(2010)	285	107	178
計	1,685	1,271	414

チーム美らサンゴは、平成16年(2004)より活動を開始し、今年で7年目となります。これまでに、1,685名が参加し、サンゴの植え付け活動を行ってきました。今年、1,161本を植えました。

表2. 平成22年の植え付け状況(春)

対象者	参加者	本数	植え付け場所
ダイバー	49	98	トベラ岩、ビーチ桟橋前
ノンダイバー	76	76	トベラ岩、ビーチ桟橋前
地元		439	
	125	613	

表3. 平成22年の植え付け状況(秋)

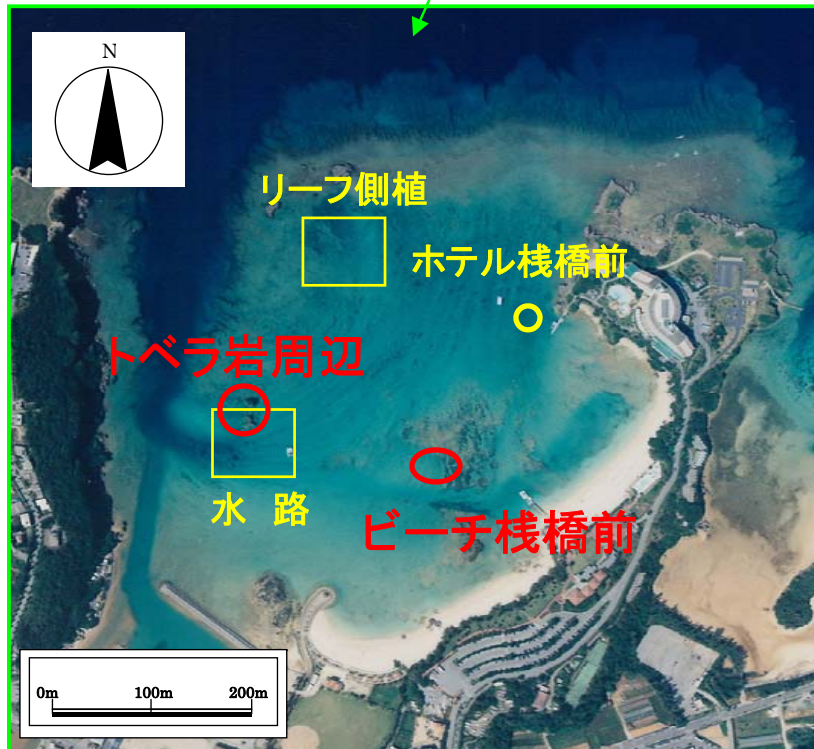
対象者	参加者	本数	植え付け場所
ダイバー	58	145	トベラ岩、ビーチ桟橋前
ノンダイバー	52	52	トベラ岩、ビーチ桟橋前
サンゴ祭り	50	50	トベラ岩
地元		301	
	160	548	

表4. 平成22年の植え付け状況(合計)

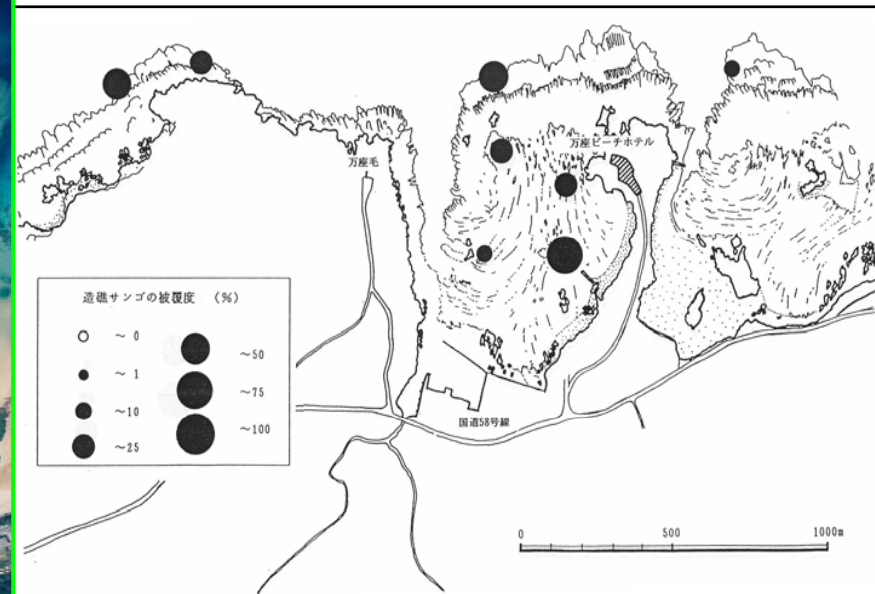
対象者	参加者	本数	植え付け場所
ダイバー	107	243	トベラ岩、ビーチ桟橋前
ノンダイバー	128	128	トベラ岩、ビーチ桟橋前
サンゴ祭り	50	50	トベラ岩
地元		740	
	285	1,161	

植え付け場所の増設

2010年は、サンゴ養殖場に近いトベラ岩周辺と平成4年に万座ビーチが行った、周辺海域のサンゴ調査結果に基づき、当時、最もサンゴ被度が高いビーチ桟橋前で重点的に植え付けを行いました。



サンゴ被度とは、真上から見たとき、生きたサンゴがどれぐらい海底を覆っているかを面積割合(%)で示したものです。平成4年の調査結果では、ビーチ桟橋前が最も高い値となっています。





2005年春植え：水路、トゲホソエダミドリイシ

2010年6月の状況

大きくなったサンゴは、保護カゴを取り外しました。沖側の一部のサンゴは、魚による食害を受けましたが、全般的に順調に生育しています。



2008年秋植え：沖 寄せ植えの状況



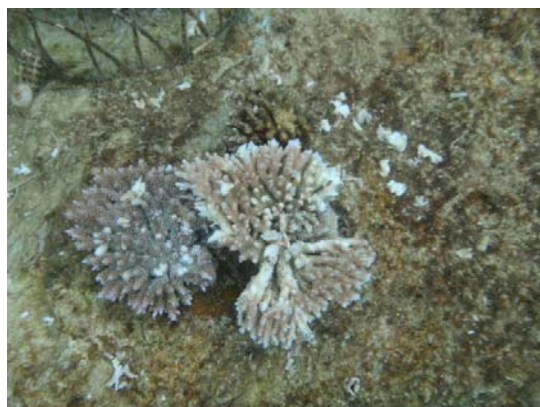
2008年春植え：沖 *Ac. subulata*

表5. 2010年6月の状況

場 所	09.11.5	10年春	10.6.23調査		生存率
	生存	植え付け	生存	死亡	
リーフ側：平島	19	10	19	10	66%
リーフ側：中央	68	229	226	71	76%
ホテル棧橋	136	78	153	61	71%
水路	53	190	168	75	69%
ビーチ棧橋		30	30		
トベラ岩		76	76		
	276	613	672	217	72%



2009年春植え、タチハナガサミドリイシ等



2008年春植え：沖 右キクハナガサミドリイシ



2010年春植え、寄せ植えの状況



2009年秋植え、ウスエダミドリイシ



水路:K、ショウガサンゴとスズメダイ



トベラ岩:A-5、魚が住み込みました。



トベラ岩:B-5、Acropora suburata

2010年12月の状況

植え付けたサンゴには、スズメダイ等の小魚が付き始め、一つのステップ(生態系の住み込み連鎖)が始まっています。

表6. 2010年12月の状況

場所	10.6.23	10年春	10.6.23調査		生存率
	生存	植え付け	生存	死亡	
リーフ側: 平島	19		17	2	89%
リーフ側: 中央	226		73	153	32%
ホテル桟橋	153		137	16	90%
水路	168	60	196	32	86%
ビーチ桟橋	30	147	163	14	92%
トベラ岩	76	341	416	1	99%
	672	548	1,002	218	82%



2010年秋植え、寄せ植えの状況



トベラ岩:C-5、ウスエダミドリイシなど



ビーチ桟橋前:D-5、クシハダミドリイシなど



ビーチ桟橋前:F-5、ハナバチミドリイシなど

保護カゴの取り外し

今後、スムーズに保護カゴを取り外し、核となったサンゴの回りに新たにサンゴを植え付けることにより、サンゴ群集の回復が望めるものと思います。



カゴの取り外し作業



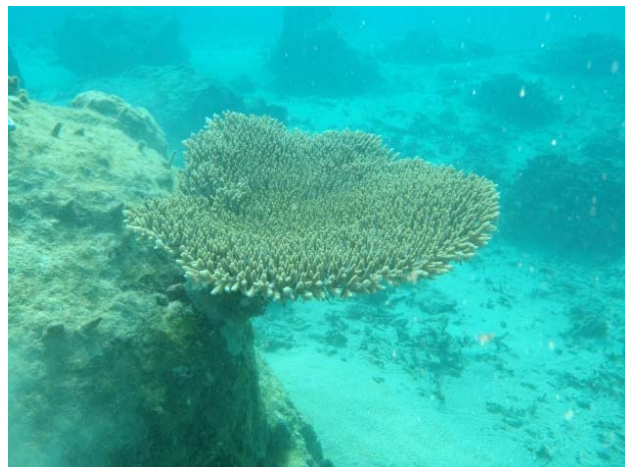
根元の金具も取りはずしました。



カゴ一杯に成長したサンゴ



ウスエダミドリシ



自然のサンゴと区別が付きません。



ホソエダミドリシ

生態系の回復

春に保護カゴを取り外したサンゴの一部は、魚による食害と受けましたが、傷口の再生が始まっています。これも食物連鎖の一環であり、生態系の回復とみなして良いと思います。



リーフ側(20年春植え:0岩)6月撮影



リーフ側(0岩)傷口の再生が始まっています。12月10日撮影

平成22年、オニヒトデ除去

オニヒトデ駆除の範囲は、万座ビーチ北川の水路(ギナングチ)から万座毛までの範囲で、約50ヘクタールの面積です。今年は、リーフ外での除去に努め、リーフ内への侵入を防ぎました。

表7. 万座地先 オニヒトデ除去状況(2010年)

除去月	回数	隻数	除去合計	場所	除去数
3月	2日	7	157	礁斜面	143
				恩納グチ水路北	14
				イノー	0
7月	3日	8	129	礁斜面	114
				恩納グチ水路南	12
				イノー	3
8月~11月	数回	地元	70	恩納グチ水路北	70
12月	2日	9	121	礁斜面	113
				イノー	8
合計	7日以上	24	477	礁斜面等 イノー	466 11



岩影に潜むオニヒトデ



食痕を目印にオニヒトデを探します。